おやこ to ぼうさい

— 災害時の連絡手段 —

- ・災害が発生した地域に安否確認や救助連絡などの電話が集中して、電話回線が混雑する。回線が混雑すると救助連絡などの緊急を要する電話もつながりにくくなるため、災害発生直後の電話連絡はなるべく避ける。
- ・災害発生時は現地での連絡が優先されるように配慮しましょう。
- ・災害用伝言板や災害用伝言アプリ、通信キャリアの災害伝言板などは、災害時でも比較的接続が安定しているため、災害時の連絡手段として適しています。

【 171 】

○いいところ

- ・公衆電話から利用する場合は、小銭を入れずに「171」とかけるだけで繋がる。
- ・声を聴けるので安心材料が増える。
- ・セキュリティー対策で暗証番号を設定できる。

×注意するところ

- ・1つあたり30秒までの音声登録。
 - ・伝言を残せるのは電話番号1回線あたり1～20と限定。上限を超えないように注意する。
 - ・NTT 東日本・西日本が提供する固定電話・公衆電話からの通話料は無料。携帯電話、PHS からかける際は通話料が発生する。
 - ・ひかり電話またはISDNでダイヤル式電話からかける場合は、利用不可になっています。
- ※セキュリティー面が心配な人は、暗証番号を設定できる。やり方は、「171」の後に「3」を押せば伝言を暗証番号使用で録音。「171」の後に「4」を押せば暗証番号を使用して伝言再生することができる。ただし、事前に暗証番号を覚えておく必要がある。

【 web171 】

○いいところ

- ・文字で伝言を残せるので間違いが減る
- ・スマホのバッテリーが無くなる前に伝言を残せる
- ・音声の読み上げ機能がある。

×注意するところ

- ・web 171 で残した文章に難しい漢字を使っていて、相手が聞こうとした時、難解な漢字を読み解けないケースがある。防止策としては、ひらがなで伝言を残すこと。
- ・電話番号の登録がどの電話番号か迷うことがある。明確に電話番号を決めておく。

おやこ to ぼうさい